

□アメリカ政治と映画

映画は楽しければそれで十分でも、別の視点を加えれば私たちは映画からさらに多くのことを学ぶことができるのでは？

1.20世紀を代表する文化メディアが映画

- ・1891年キネトスコープ トーマス・エジソン 覗き映像
 - ・1895年シネマトグラフ リュミエール兄弟 大衆映画の起源
 - ・1930年代 ドイツの思想家[ヴァルター・ベンヤミン]が[映画]と[ファシズム]の精神分析
 - ・映画もファシズムもヒーローを求める
 - ・映画もファシズムも大衆の支持がなければ成立しない
- ※民主主義 → 極端な進化 → 「ナチスドイツ」 政治は民主主義？

[映画]とは集団で作成、集団で消費、広く共有化

[政治ヒーローは映画を巧みに政治利用] 映画・映像・テレビ

- ・ナチスドイツの宣伝大臣だったゲッペルス 映画の専門家
- ・イタリアのムッソリーニ 「映画は最強の武器」
- ・ロシア革命のレーニン 映画の重要性を指摘

- ・田中角栄 8ミリ映像を各選挙区へ配る
- ・佐藤栄作 テレビで政見放送 引退会見は
- ・小池百合子 自民党都連3役挨拶

2.20世はをアメリカの世紀

1941年12月には日本が真珠湾を奇襲攻撃アメリカは第二次世界大戦に参戦、第二次世界大戦戦後の世界秩序。超大国アメリカへアメリカが経済・軍事でもあらゆる分野でも世界で突出した超大国。

アメリカ国内で行政府が巨大化 アメリカ大統領中心 → 大統領の役割の増幅(大統領はヒーロー)

- ・行政府が巨大化(軍事・外交以外の社会福祉や教育)
- ・世界の中でアメリカのステータスが大きい(軍事・経済・文化・科学技術)

1950年代 「強いアメリカ」の安定した繁栄した時代アメリカにとって 繁栄と安定の時代、軍事力・経済力・文化的発信力。

1960年代 50年代のアメリカと対照的に不安定 ベトナム戦争

- ・テキサス州のダラスでケネディ大統領が暗殺
 - ・公民権運動の指導者マーチン・ルーサー・キング牧師暗殺
 - ・ロバート・ケネディ暗殺

1974年 リチャード・ニクソン大統領がウォーターゲート事件で失脚

1975年 アメリカはベトナムから敗北のかたちで撤収

1980年代 アメリカは双子の赤字 日本はGNP世界2位へ ・レーガン サッチャー 中曽根

3.アメリカの映画が最も頻りに描いてきた実在の大統領は？

- 1.リンカーン(2014年1月現在、29本の映画)
- 2.ジョージ・ワシントン
- 3.フランクリン・ローズヴェルト
- 4.ジョン・フィッツジェラルド・ケネディ

・19世紀の末ごろから21世紀にかけて映画は繰り返しリンカーンを描いてきた

・ハリウッドのスター俳優・女優を総動員して戦時国債を売る → 政治への大衆的影響

4.ロナルド・レーガン大統領とは

- ・ラジオのアナウンサー、ハリウッドの映画俳優、テレビの司会者
- ・20世紀のメディアの変遷の波にのる

1980年 現職民主党のカーター対共和党新人69歳のロナルド・レーガン候補の大統領選挙

「また間違っている」といった決めゼリフを何度も繰り返すレーガンは印象深く討論会を勝ち抜く
(レーガンの鮮やかな演技と話術)

5.レーガン時代と映画

- ・レーガン政権は政治と映画の混合した政権?
 - ・ホワイトハウスへ有名な俳優たちとの交流 フランク・シナトラ ジェームズ・スチュアート ボブ・ホープ
 - ・レーガンの政策が今度は映画俳優たちのマインドや行動を制約?
- シルヴェスター・スタローンが主演した『ランボー』・『ロッキー』は国主義的な人物へ強いアメリカを標榜したレーガン政権の政治とシンクロ「ランボーというキャラクターがレーガン政権の政治外交の象徴

1981年3月に起こったレーガン暗殺未遂事件 映画と現実との混合体?

- ①犯人は精神に異常をきたしている1976年のマーティン・スコセッシ監督の有名な映画『タクシードライバー』の影響
(ロバート・デ・ニーロの大統領候補を暗殺しようとするシーン)
- ・映画がレーガン大統領暗殺未遂事件に至ったと **映画と現実との区別**がすっかりつかなくなってしまうような事件
(レーガンの命を救ったシークレットサービスの司令官は、子ども時代にレーガンが俳優として演じていた「シークレットサービス」の映画を見て彼はシークレットサービスになりたいと思っていた)
 - ・実際の暗殺未遂事件という悲劇をあたかも映画のエピソードのように利用して自分の政治的求心力を高めるレーガン
「みなさんがみんな共和党員であつたらいいんですがね」と冗談をとばす。ジョークを言う心の余裕を持っている。

②ロバートゼメキス監督の『バック・トゥ・ザ・フューチャー』 1985年レーガン政権の半ばにつくられた映画

1985年のアメリカから30年前の1955年に主人公は(マーティ)

マーティ:「僕の時代のアメリカの大統領は、レーガンだよ」

ドク:「俳優のレーガンが大統領になる！じゃあいったい誰が副大統領なんだジェリールイスか」

(ジェリールイスは50年代60年代にたいへん人気のあったコメディアン)

※当のレーガンはこの場面をとても気に入り、この場面を巻き戻させたという。

6.映画を巧みに利用する政治家ロナルド・レーガン演説

- ・「この映画が示しているように未来は決して決まてはいないので」 『バック・トゥ・ザ・フューチャー』
- ・ソ連を「悪の帝国」、「スター・ウォーズ計画」(SDI 構想) 『スター・ウォーズ』
- ・「核兵器を時代遅れで役に立たないものにする」 『引き裂かれたカーテン』(アルフレッド・ヒッチコック監督)

7.ゴジラ映画と政治

1945.8	広島・長崎に原爆	終戦		
1954	第五福竜丸	アメリカ水爆実験で被爆	映画『ゴジラ』上映	「なんでゴジラを研究しない」 「ゴジラを守るべきだ」 原発 = ゴジラ?
1952	サンフランシスコ講和条約		原子力開発研究の解除	
1955	原子力基本法		中曽根康弘 正力松太郎	
.				
.			日本を守るゴジラ? こどもが好きなゴジラ?	
.				
2016	映画『シンゴジラ』上映		政府、官僚は? 会議と書類が飛交う 自衛隊行動へ判断と命令 → 憲法改正?	



スティーブン・スピルバーグ監督『リンカーン』 危機の時のリーダー 南北戦争 黒人解放 暗殺



ヤルタ会談(1945年2月大戦後の国際秩序を規定、東西冷戦の端緒)
チャーチル、ルーズベルト、スターリン



1981 レーガンと閣僚



1984 レーガンとマイケル・ジャクソン

今日の様々な映画・テレビ・ネット映像等から新たな発見をして、一体どの程度政治的なのかということを考えながら観る。

- ・映画からより多くを学ぶことができる。
- ・政治を新たな視点から考察する。
- ・映画をより深く楽しむことができる。